

令和6年度 第2回精華町町民健康づくり推進協議会 議事摘録

■日時

令和7年2月19日（水） 14時から15時30分まで

■場所

精華町役場 庁舎6階 審議会室

■出席委員

- ・石井 好二郎 会長
- ・山本 正來 副会長
- ・細川 暢子 委員
- ・岸田 秀樹 委員
- ・本部 真理子 委員
- ・宮本 潤子 委員
- ・西山 純子 委員
- ・北 安代 委員
- ・堀口 紀代美 委員
- ・大田 梨沙 委員
- ・上村 卓三 委員
- ・中戸 太郎 委員
- ・清水 泰律 委員
- ・岩井 一葉 委員

■欠席委員

- ・内田 裕也 委員

■傍聴者

なし

■内容

1. 開会

2. あいさつ 健康福祉環境部長

岩前健康福祉環境部長

- 防災保健センターの建設について、現在、基礎工事を実施しており、令和7年12月の竣工に向けて順調に進んでおります。平時は現在と同様に保健事業を実施し、

災害時は災害医療保健活動の拠点として利用することを予定しており、完成次第、皆様にお披露目させていただきます。令和7年度の動向としましては、こども家庭センター設置に向けた準備を進める予定をしております。母子保健機能と児童虐待対策の児童福祉機能を一体的に実施し、妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援の強化を目指します。本日は健康増進計画に基づく令和6年度取組状況及び令和7年度取組計画について、保健事業に活かすため、委員の皆様から積極的なご意見、ご提案をお願いします。

事務局

- 「精華町町民健康づくり推進協議会公開要領」第2条に基づき非開示とする場合を除いて原則公開となる。
- 会議要旨については、個人情報等公開すべきでないと思われる内容を除き、町のホームページ上で公表する。
- 会議録要旨については、同要領第4条に会議終了後、事務局において作成し、修正箇所等を委員の皆様を確認していただいた後で、公開する。

3. 委員紹介

4. 議事

(1) 健康増進計画に基づく令和6年度取組状況と令和7年度取組計画について

事務局

重点的取組に対する実施状況及び基本目標の進捗状況について、重複する項目が多いため、含めて概要説明。〔資料3、4〕

- 【重点施策1：受診率向上へのしくみづくり】及び【重点施策2：生活習慣改善のための取組の推進】について概要説明。〔その他資料：資料5〕
- 【重点施策3：子どもの適切なメディア利用と運動・身体活動の向上に向けた取組の推進】及び【重点施策4：つながりを意識した子育て力の強化】について概要説明。〔その他資料：資料6〕
- 【重点施策5：協働による健康づくり活動の発展】及び「せいか365」の取組について概要説明。〔その他資料：資料7〕

(2) 意見交換

石井会長

- ただ今、事務局から、令和6年度取組状況及び令和7年度取組計画についての報告がありました。これについて、ご意見やご感想などを皆様からお願いします。

細川委員

- 胃内視鏡検診について伺います。山城南保健所管内（以下「山城南管内」という。）

で胃内視鏡検診を実施できる医療機関が少ないため、「京都府胃がん内視鏡検診管外受診制度」を利用し実施しておられますが、今年度の受診者のうち、山城南管内の医療機関で受診された方はどのくらいおられますか。

事務局

- 胃内視鏡検診の申込者588名中、受診者は289名で、申込者中の受診者は約50%でした。受診場所の内訳は、山城南管内の医療機関での受診が約50%となっており、管外では京田辺市の医療機関での受診者が多い状況となりました。令和7年度は、山城南管内の実施医療機関として、学研都市病院と京都山城総合医療センターが追加となる予定です。

山本副会長

- 「【重点施策1】受診率向上へのしくみづくり」（資料3、P1）の「②受診の障害を取り除く」の★2つ目「商業施設を活用して、巡回がん検診の実施」について、周知はどのようにされているのですか。
- 「②受診の障害を取り除く」の●1つ目「成人健（検）診や骨密度測定会において、インターネットでの申込受付の実施」とありますが、シニア世代はインターネットの扱いに不慣れな方が多いということを踏まえた上で、申込方法についても検討いただきたい。

事務局

- 商業施設での巡回がん検診については、狛田地区と精華台地区、山田川地区の3か所のスーパーマーケットの駐車場をお借りし、肺がん検診と大腸がん検診を実施しました。がん検診の申込者に対して実施日時の案内文書を同封し、周知しました。また、広報誌「華創」にも掲載し、広く住民へ周知しました。
- インターネットでの申込受付については、若い世代の方の受診の障害を取り除き、申込のハードルを下げるために導入しました。ハガキや役場窓口での申込受付も実施しており、多様な申込方法で対応しています。

本部委員

- 民生児童委員の活動に加え、精華町健康づくり・介護予防サポーター「すてき65メイト」（以下「すてき65メイト」という。）にも所属しています。高齢福祉課の管轄になりますが、12月に桜が丘地区に地域包括支援センターが新設され、桜が丘地区へ相談場所が拡充されたことについて喜ばしいことだと感じています。先日、近隣大学の看護学部の教員と精華町のフレイル予防の取組について話す機会がありました。素晴らしい取組をしていることをもっと多くの方に知ってもらいたいと考えています。

事務局

- すてき65メイトの皆様には、健（検）診や骨密度測定会、健康づくりイベント等、様々な事業にご協力いただいています。健康づくり事業に加え、高齢福祉課と健康推進課が一体的に取り組んでいるフレイル予防の取組についても、すてき65メイト等の住民団体の皆様のご協力の下、今後も引き続き、取り組んでまいります。

宮本委員

- 先日、令和7年度の健（検）診の申込案内が届きましたが、健（検）診実施場所が例年の役場ではなく、けいはんなオープンイノベーションセンター（以下「KICK」という。）となっていました。実施場所を変更した理由を教えてください。
- 「令和4年度京都府民健康・栄養調査」において、山城南管内の塩分摂取量が男性が府下で1位、女性が2位で男女とも摂取量が多いという結果でした。また、運動量においては、男性が府下で最下位、女性も2番目に少ないという結果となりました。このような結果を踏まえて、町でも保健事業を実施していると思いますが、町の考えをお伺いします。

事務局

- 健（検）診実施場所の変更について、例年、健（検）診では半日で300人程度の受診者がありますが、現在実施している防災保健センター工事のため、役場の来場者駐車場が縮小されている状況から、令和7年度に限り、KICKで実施することとしました。
- 京都府民健康・栄養調査については、回答者のうち、精華町民の母数が少ない中での調査のため、このような結果になったと理解しています。健康増進計画の5年毎の見直しの際に、京都府の調査結果を踏まえつつ、保健事業について検討していきます。

西山委員

- 全世代に対して様々な保健事業を実施されていることを知り、町民としてありがたく感じました。その中で、各保健事業の対象者に、対象となる事業の情報が適切に行き渡ること、つまり周知徹底の必要性を実感しました。また、令和7年度の実施として、精華町食生活改善推進員（あすなろ会）の養成講座を実施されることで、会員増加に期待しています。

北委員

- 庁舎正面入口付近の食の展示内容が充実しており、興味深く拝見しました。但し、チラシの欠品が多かったのが残念でした。配架用のチラシも充実していると、さらに良い啓発になると思います。
- 令和6年度の実施状況報告において、食生活改善推進員と上手に連携し、食の実施されていると感じた反面、「学校との連携」が多くの項目で未達成となっており、他職種との連携の難しさを感じました。

岩井委員

- 健康づくりのため、様々な取組をされていることを知ることができました。自分に合ったものや必要なものを見極めて、積極的に参加して行く必要性を感じました。周知については、自身の母世代などの高齢者には、広報誌でも情報が行き届いていないと感じる点があり、周知の難しさを感じました。

清水委員

- 精華町の方に歩く楽しさを広めたいという思いで、精華町ふるさと案内の会に所属

し、ウォーキングイベント等を企画・実施しています。イベントの参加者はシニア世代が多いですが、若い世代にも参加してもらいたいと考え、資料にも記載がありますように（資料3【重点施策3】他）、親子で参加しやすいウォーキングイベントとして、10月にロゲイニングイベントを実施しました。参加者は6組と少数ではありましたが、0歳の赤ちゃん連れの親子や高校生の参加も得られ、若い世代へ「歩く」について、働きかけができました。第2回目のロゲイニングイベントを3月末に実施予定で、たくさんの方に参加してもらいたいと周知に力を入れています。

事務局

●健康増進計画の策定にあたり5年ごとに実施している住民調査において、30～40代の運動量が男女共に少ない結果となっています。仕事や子育てで忙しく、自分のために運動の時間を割くのが難しいことが推察されますが、この世代へ運動促進のアプローチをしたいと考え、精華町ふるさと案内人の会をはじめ、せいか365プロジェクト等と協働で、平成28年度から親子で参加のできるウォーキングイベント「親子で楽しもう！せいかお宝発見わくわく体験」（資料3【重点施策3】）を実施しています。今年度も3月2日に実施予定のため、イベント参加者へのロゲイニングイベントのチラシ配布に協力させていただきます。

中戸委員

●防災保健センターについて、災害時はどのような機能を担うのか、もう少し詳しく教えてください。

事務局

●災害時は保健医療福祉活動の本部として、受援拠点となります。災害が発生し、町職員だけでは対応が難しい状況になると、町外から様々な医療チーム（医師、保健師、看護師、福祉職等）が派遣され、被災地域の支援を行います。これらの医療チームの受け入れ調整や活動の采配を行う拠点として、防災保健センターを使用します。

上村委員

●老人クラブ連合会の会長をしております。組織づくりの継続の難しさを日々実感しているところですが、精華町の高齢福祉課と健康推進課、各団体が連携し、健康づくりの取組を非常にきめ細かく行われていることが分かりました。

大田委員

●経営者として、社員が健康を維持・増進するためにはどうしたらよいか、常日頃考えています。職員の福利厚生のために職場にお菓子を設置していますが、残業の時間にお菓子しかないというのは、健康という観点から果たしてよいのか、例えば精華町産の野菜や果物などの設置に変更すれば食育や健康に寄与できるのでは、と模索しています。会社でもセイカ歩数計アプリを推奨し、活用していますが、今後もさらに職員の運動を促進するような取組を精華町と一緒にできればよいと考えています。

堀口委員

- セイカ歩数計アプリと合わせ、他の歩数計も活用しています。2つの歩数計の歩数に誤差があり、セイカ歩数計アプリの歩数がいつも100歩程度少ないのですが、こういった原因が考えられるのでしょうか。
- すてき65メイトに所属し、「体操の居場所」で地域の方に体操を通じたつながりづくりをしています。以前、音楽と体操を組み合わせた講座を町で定期的開催されていました。そのような講座があれば、ぜひ参加したいという声を「体操の居場所」で交流する中で聞かれました。今後、このような講座の実施予定はあるのでしょうか。

事務局

- セイカ歩数計アプリについて、歩数カウント機能の感度を上げる設定がアプリ内で可能です。設定を変えることで、歩数の誤差が解消できる可能性があります。

石井会長

- 歩数計に関する研究を行ったことのある立場として説明を補足します。古典的な“カチャカチャ”音のする「バネ式歩数計」というものであれば、ある一定の揺れ以上でバネが動く度に補数をカウントします。近年の歩数計は「加速度式歩数計」と呼ばれるものが主流で、一軸（上下）、二軸（上下、前後）、三軸（上下、前後、左右）の揺れから、計算して歩数を計測します。その計算された揺れを歩数として認識する方法は、企業や機種によって違いがあり、機種によって差が出てきます。なお、補数カウントの感度を上げると、乗り物に乗っている時の揺れも歩数として認識するかもしれません。

事務局

- 音楽と体操を組み合わせた講座については、近隣の大学の吹奏楽部の協力の下、高齢福祉課で実施していた講座になります。現在は実施していないと把握していますので、高齢福祉課にご意見を申し伝えます。

岸田委員

- 1月の追加健診の実施状況と効果について伺います。受診者数増加が見込めるのであれば、今後、日数の増加等も検討してはいかがでしょうか。
- くるりんバスのルートが変更になり、患者からは移動が不便になったという声を聞いています。デマンド交通の運行が開始されたと聞いていますが、町内の交通の利便性がもっと高まればよいと感じます。
- 「学校との連携」が全体的に未達成となっており、以前から解消されていないので、今後はこの項目が達成できるよう、情報共有から始めたら良いのではと思います。

事務局

- 1月の追加健診の実施状況について、3日間の実施で受診者数は、特定健診252人、胃がん検診163人、大腸がん検診449人、肺がん検診426人でした。特定健診については、国民健康保険被保険者だけでなく、75歳以上の後期高齢者医療制度被保険者の受診者数も年々増加している状況で、受診率向上の取組の効果ができていると考えています。実施日の増加については、関係課と調整のうえ、必要性

も踏まえて今後検討します。

- 公共交通について、デマンド交通が今年度の秋から試行的に開始されました。くるりんバスと合わせて、さらに使いやすいものとなるよう、今後、整理されていくこととなりますので、担当課にご意見を申し伝えます。本課との関連としましては、くるりんバスとデマンド交通の車内に、せいか365健康ポイントの二次元コードを掲示し、乗車ポイントを付与する取組を実施しています。ご利用の際には、健康ポイントの取得も是非、ご活用ください。
- 学校との連携については、事務局としても課題と捉えております。養護教諭と事業等で連携の予定がありますので、情報共有を実施してまいります。

石井会長

- 欠席委員から意見書の提出はありましたでしょうか。

事務局

- 内田委員から、ご意見を頂いています。

●【内田委員 ご意見】

令和7年度は歯周病検診と後期高齢者歯科健診の充実と受診率向上、また、オーラルフレイルやお口の疾患と全身の健康の関係性等、皆様に分かりやすい講演会を引き続き行っていきます。町民の皆様の健康増進にしっかりと協力していきます。

5. 次回会議日程

次回日程：令和7年11月（予定）

6. 閉会